



子どもが何かを飲んじゃった？！

子どもの誤飲、一番多いものはタバコです。当院にも年に1～2回患者さまが来院されます。他にも、「薬を飲んだ」、「乾燥剤を飲んだ」、「芳香剤を飲んだ」、「おもちゃを飲んだ」などいろいろ相談があります。

その時になって調べると、あせってしまい時間ばかりがたってしまいます。0歳～2歳ぐらいの子どもたちは、なんでも口に入れてしまいます。乳児であれば、口径32mmより小さいものは口に中に入ります。こんな時はどうしたらいい？例をあげてみていきましょう。

1. タバコ

- ①口の中にタバコの葉があるか見る。
- ②口の中にある葉っぱをすべてかき出す。
- ③水分を取らせずに、吐かせる。
(水分を取るとニコチンが水に溶け出して、体への吸収を早めてしまうため危険です。吐かせれない場合に限り、1～2口の水を飲ませ吐かせる。)
- ④かかりつけの小児科、救急病院に相談してください。
タバコに含まれるニコチンを身体の中に吸収すると危険です。1本分で乳児の致死量、2cm以上なら至急病院を受診してください。灰皿の水はすでにニコチンが溶け出した状態ですので、大変危険です。少量でもすぐに救急病院を受診しましょう。



【吐かせないでください！！】

灯油や強アルカリ性のトイレ用洗剤を誤飲した場合は絶対、吐かせてはいけません！
何もせずに、大至急「救急病院」へ！



2. 乾燥剤(シリカゲル)



シリカゲルだけならば、全身毒性はほとんどみられません。ジュースなど十分な水分を与えましょう。量と色に注意。青色のものを大量接種した場合は、口の中の粘膜を傷める恐れがあります。咳き込んでいる場合は、気管に入っているかもしれないので、病院を受診しましょう！

3. 芳香剤

トイレボール以外の固形のものやゲル状のものは、ほとんど無毒です。液体では、量によってはアルコール中毒の可能性もあります。成分にメタノールがあるか調べましょう！あればすぐに病院を受診しましょう。(車用の物には含まれていることが多いです)芳香剤は香りがきつく、苦み成分が混入されていることもあるので、大量には飲み込みにくいです。

市販のものには、お客様相談室の電話番号が記載されていることが多いです。成分がよく分からない時は、誤飲の場合の対処を相談できる場合があります。薬を誤飲した場合は、薬局や病院に相談して、現物を持って受診して下さい。例をあげてみただけでも、吐かせたり吐かさせてはいけなかったり、何かを飲ませるのか、飲ませてもいけないのか、いろいろです。次の表をご活用ください。

吐かせてはいけけないグループは、すぐに受診が必要です。

吐かせるグループも、吐かせたあと、または吐けなかった時には、すぐに受診します。念のため翌日に受診すると安心です。

受診のめやす

	なにを飲んだか	危険度	手当て	なにを 飲ませるか
吐かせてはいけけない	灯油・ガソリン・ベンジン	1滴でも気管に入る危険	飲んだと思われるのならすぐに受診。なめた程度でもすぐに受診したほうがよい。	飲ませない
	洗剤(下し用、排水パイプ用、シンク用など)	少量でも皮膚がただれて危険	口の中をよく洗い、牛乳をコップ半分ぐらい飲ませすぐに受診	牛乳
	漂白剤(塩素系)	少量でも皮膚がただれて危険	口の中をよく洗い、牛乳をコップ半分ぐらい飲ませすぐに受診	牛乳
	永久染毛剤	毒性が高く少量でも危険	口の中をよく洗い、牛乳をコップ半分ぐらい飲ませすぐに受診	牛乳
	液体吸引	気管に入ると危険	大量ならすぐに受診。なめた程度なら24時間様子をみる。顔色不良、せき込み、吐き気、おつ吐などの症状があれば受診。	飲ませない
	酸化カルシウム 生石灰	口の中やのどがただれ、危険	口の中をよく洗い、つがいさせる。牛乳を飲ませすぐに受診。	牛乳
	マニキュア 除光液	少量でも危険。気管に入ると化学性肺炎に	少量でも飲んだ場合はすぐに受診。	飲ませない
しょう油	かけら程度でも飲めば危険	なめただけなら様子をみる。飲んでいれはすぐに受診。牛乳は絶対飲ませてはダメ。吐かせることがれんを鑑別するので禁忌。	飲ませない	
吐かせる	タバコ	1本分の(三手)で致死量	まず吐かせる。吸収されにくい乾いたタバコを20分以下の場合、4時間ほど様子をみる。顔色不良、吐き気があれば受診。	飲ませない
	吸いから入りの水	水に溶け出している(三手)は非常に危険	口のまわりや口の中を見て、少量でも飲んでいいると思われるなら、すぐに受診。	飲ませない
	ホウ酸団子 (ゴキブリ駆除剤)	商品のホウ酸含有量により異なる	商品によっては4分の1以上食べたなら危険。水か牛乳を飲ませて吐かせ、すぐに受診。なめた程度なら家で様子をみる。	水か牛乳
	ナフタリン (衣料防虫剤)	かけら程度でも危険	なめただけなら、水を飲ませて様子をみる。牛乳は絶対飲ませてはダメ。かけらでも食べていれは、すぐに受診。	水
	パラジクロロ ベンゼン (衣料防虫剤)	かけら程度なら心配ない	4分の1個以上食べた場合は、水を飲ませてすぐに受診。牛乳を飲ませてはダメ。	水
ようすをみる	化粧水	アルコール中毒の危険	なめたり、一口飲んだ程度なら、水を飲ませて様子をみる。顔が赤くなったりして苦しそうなら、受診。	水
	クリーム・口紅	なめた程度なら心配ない	水を飲ませて様子をみる。大量の場合や吐き気、おつ吐、下痢などの症状があればすぐに受診。	水
	シャンプー	なめた程度なら心配ない	少量の場合は、牛乳を飲ませて様子をみる。大量の場合やおつ吐などの症状があればすぐに受診。	牛乳
	芳香剤	ゲルや粒状の製品は心配ない	水か牛乳を飲ませて様子をみる。専用の芳香剤は、メタノール含有の可能性もあるので、現物を持って受診。	水か牛乳
	入れ歯洗剤	漂白成分が入っている製品だと心配	なめたり、かじつたりした程度なら牛乳を飲ませて様子をみる。大量だったり、腹痛、おつ吐などの症状があれば受診。	牛乳
	肥料 植物活力剤	大量でなければ、あまり心配ない	水か牛乳を飲ませ、様子をみる。顔色不良、腹痛、おつ吐などがあれば受診。	水か牛乳

松江市立病院 (0852・60・8000) 松江赤十字病院 (0852・24・2111)



何かをのどに詰まらせたとき！！

生後6ヶ月～2歳くらいの間は異物誤飲事故の多い時期であり、食品や食品以外のものでも窒息に至る危険があります。

食品では、ピーナッツなどの豆類、白玉やおもち、こんにやくゼリーなどが多く、食品以外の製品には、スーパーボール、ゴム風船、ぬいぐるみの部品、筆記具などがあります。また、シールやビニールの切れ端などでも窒息が起きることがあります。

のどになにかつまっている時の状態は・・・

完全に気道がふさがっていない時は、咳き込んだり、のどから「ぐーぐー」といびきのような音がします。

完全に気道がふさがってしまうと、顔色が悪くなり、声や息がだせなくなります。意識がなくなって倒れることも。



119番通報を誰かに頼み、ただちに詰まった物の除去を試みます。

裏面の「子どもの窒息時の
応急手当の方法」を
参考にしてください。



窒息事故を防止するために

- ・誤飲や窒息の危険があるので、小さなおもちゃや部品は子どもの口に入れさせない。
 - ・窒息の危険のある大きさ※のスーパーボールは3歳未満の子どもには与えないこと。また、3歳以上であっても口にしないよう注意する。
(※直径44.5mm以下:玩具安全基準書による)
 - ・口に入りそうなものは子どもの手の届かないところに片づける。
 - ・兄弟などがいる場合は、おもちゃなどは小さな弟妹が誤飲等をしてないように言いきかせる。
- 当院でも予防接種などのおみやげで、おもちゃをお渡ししております。小さなお子さまのお口に入らないように注意をしてください。

子どもの窒息時の応急手当の方法

(食品安全委員会「食べ物による窒息事故を防ぐために」より)

119番通報を誰かに頼み、ただちに以下の方法でつまった物の除去を試みます。

〔背部叩打法^{こうだ}〕

乳幼児では、口の中に指を入れずに、乳児は片腕にうつぶせに乗せ顔を支えて(図1)、また、少し大きい子は立て膝で太もがうつぶせにした子のみぞおちを圧迫するようにして(図2)、どちらも頭を低くして、背中の中を平手で何度も連続して叩きます。なお、腹部臓器を傷つけないよう力を加減します。



図1 背部叩打法 (乳児)



図2 背部叩打法変法
(少し大きい子)

〔ハイムリッヒ法(腹部突き上げ法)〕

大人や年長児では、後ろから両腕を回し、みぞおちの下で片方の手を握りこぶしにして、腹部を上方へ圧迫します(図3)。この方法が行えない場合、横向きに寝かせて、または、座って前かがみにして背部叩打法を試みます。



図3 ハイムリッヒ法 (年長児)